

【会議参加報告】

会議参加報告

◆ MMVR 12

中尾 恵

京都大学

2004年1月14日から17日にかけて医用バーチャルリアリティの国際会議であるMMVR12(12th Annual Medicine Meets Virtual Reality Conference)がLos Angelesの郊外にあるNew Port Beach Marriott Hotel & Tennis Clubにて開催された。開催ホテルはここ数年変わっていないが、海岸に近いリゾート地に位置しており、ロスを満喫できる最高の環境である。

今回の会議のテーマはThe Next Tools for Medical Education, Diagnosis and Careとなっており、特に医学教育や臨床への導入に焦点が当てられていた。従来の臓器モデリングやシミュレーション手法、システム開発に関する発表もあったが、システムの導入結果・検証に関する報告やシミュレータを用いた医学教育のあり方、カリキュラムへの導入形態など「如何に使っていくか」に関する演題の多さが特に目を引いた。二日目の午後に“Surgical simulation It's not about technology; it is about education”と題して行われたパネルディスカッションは特に印象的で、教育者である医師らによる活発な議論が行われていた。

一般講演は以前のシングルセッションとは異なり、二つのセッションが並行で進められる形式となっており、演題数も増加していた。Stereoscopy Sessionも13件の発表があり、盛況だった。このセッションでは、参加者全員が立体視用のメガネをかけて臓器モデルや仮想内視鏡のイメージなどを立体的に見るもので、このような企画は他のVR系の学会でも積極的に取り入れられると面白そうである。

筆者は三年ぶりの参加で、会場内の雰囲気はほとんど変わっていない印象を受けたが、発表演題、企業展示と

もに完成度が高く、米国における実用化・臨床現場への導入が間近であることを感じさせられる内容であった。

一方、国内では、幾つかの大学で基盤技術の開発が進められてはいるものの、開発技術の製品化、VR医学教育制度の整備等を含めた議論はまだ多くなされていない。しかし、近年、VR医学会やVR医工連携研究会が設立されるなど国内でも確実にその動きは見られつつある。ぜひMMVR等の欧米諸国のコミュニティとの連携によって、国内の医用VR研究、技術開発、臨床への導入が促進されることを願う。

関連 URL

Medicine Meets Virtual Reality Conference:
http://www.nextmed.com/mmvr_virtual_reality.html



New Port Beach Marriott Hotel の外観
(ホテル内にプール、近隣にはヨットハーバーがある)



CIMIT(Center for Integration of medicine and Technopogy)の Steve Dawson 氏が Satava Award に輝いた